

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和7年度）

施設の名称	名取市震災復興伝承館
指定管理者の名称	一般社団法人名取市観光物産協会 会長 佐々木 洋
施設所管部課（室）	生活経済部商工観光課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
令和2年4月1日～	指定管理者	一般社団法人名取市観光物産協会 会長 佐々木 洋	

（注）管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	一般社団法人名取市観光物産協会 会長 佐々木 洋
	所在地	名取市杜せきのした5-3-1 イオンモール名取1階ナトリサン
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日 （5年0ヶ月）	
募集方法	公募 ・ 非公募	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市震災復興伝承館
所在地	名取市関上東1-1-1
設置年月	令和2年4月1日
根拠条例等	名取市震災復興伝承館条例
設置目的	東日本大震災の記憶及び教訓を後世に伝承し、当該震災を風化させることなく、防災意識を醸成するとともに、市民、復興支援者及び来訪者の交流を促進するため。
施設の内容	震災伝承施設
開館時間	4月～11月：午前9時30分～午後4時30分 12月～3月：午前10時～午後4時
休館日	毎週火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）
指定管理者が行う管理運営業務	施設の使用の許可、維持・管理、その他市長が必要と認める業務
利用料金制度	採用の有無 有 ・ 無
	利用料金の名称

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度（Ａ）	前年度（Ｂ）	前々年度	評価対象年度の 対前年度増減率（％） (A)－(B) / (B) × 100
	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	
開催日数	307日	308日	309日	-0.32%
延べ利用者数	41,104人	41,672人	45,123人	-1.36%
利用者数（人/日）	133.9人/日	135.3人/日	146.0人/日	-1.03%
主な増減原因	発災から15年の節目の年にあたり来館者が増えると思込んでいたが思うほど伸びず、また、一般の団体受入数は若干増えたが団体の中の人数が少なく中学校、高校の修学旅行の団体受入が一昨年と昨年と少なくなっている。団体以外に来館者は県外からの来館者が増え、特に家族連れが多くなってきているが、昨年の利用者数より若干減った形となった。			

（注）対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

（1）収入

（単位：千円、％）

	評価対象年度（Ａ）	前年度（Ｂ）	前々年度	評価対象年度の 対前年度増減率（％） (A)－(B) / (B) × 100
	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	
指定管理料	8,600	8,600	8,600	0.00%
利用料金収入				
その他	168	130	122	29.23%
収入計（ア）	8,768	8,730	8,722	0.44%

（2）支出

人件費	5,375	4,616	4,087	16.44%
施設管理費	2,910	2,242	2,146	29.79%
事業運営費	728	481	636	51.35%
その他	100	85	38	17.65%
支出計（イ）	9,113	7,424	6,907	22.75%

（3）収支

収支（ウ）＝（ア） －（イ）	-345	1,306	1,815	-126.42%
前期繰越収支差額	5,384	4,078	2,263	32.03%
次期繰越収支差額	5,039	5,384	4,078	-6.41%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

〈サービス向上の取り組み〉

- ・旅行会社や来館者からの問い合わせに、丁寧な対応を心掛けた。
- ・来館者からパネルやジオラマ等の説明、質問を求められた時の対応を行った。
- ・来館予定の団体で語り部等の説明が無いような時は、職員等が館内で短時間での説明を行う対応を行った。
- ・来館者へ周辺施設や観光案内や観光情報を発信するため、各種パンフレットやイラストマップの配布を行い、また連携する震災伝承施設や旅行会社からの問い合わせに応じ、当館の施設案内(リーフレット)の発送を行った。
- ・来館者へ施設利用に関するアンケート調査を行い、サービスの向上と改善に努めた。

〈利用者数増加のための取り組み〉

- ・個人で来館された方々にも「語り部」の話を開けるように名取市で制作した『名取市東日本大震災「語り部」の記録映像～震災を語り継ぐ人々～』をシアタールーム2で放映した。
- ・施設リニューアルにて「災害体験VRゴーグル」「防災リック体験コーナー」の設置を行った。
- ・ホームページやSNS（フェイスブックやインスタグラム）の運用を積極的に行った。
- ・防災絵本の読み聞かせ会、ミニワークショップの実施。また、仙台3.11メモリアル交流館やアクアイグニス仙台との共同のイベントの開催した。
- ・教育旅行誘致セミナーに参加して東京・札幌の旅行会社や学校に対し閑上地区施設と当館を利用した教育旅行誘致を行った。
- ・仙台防災未来フォーラム2026へブース出展して名取市と当館の活動等を発信した。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

- ・震災前の閑上地区のジオラマに対しての要望(表記されている名前が違う、追加など)には、引き続き可能な限りの対応を行った。
- ・震災前、震災後、復興後の写真パネルへ「現在地」を表示して欲しいとの声が来館者から有ったのでパネルに「現在地」を表示している。
- ・震災前に閑上地区に住んでいた方から「自宅が有った場所を教えて欲しい」との要望が有ったので住宅地図を利用して震災前と現在の場所が分かるように工夫して来館者の方からの要望に答えている。
- ・水圧ドアや水圧体験下駄に職員の説明が有った方が良いとの意見が有ったので体験している来館者の方へ説明を行っている。
- ・新しく導入した災害体験VRゴーグル体験を推奨し、地震・津波・風水害の体験を通じて危険や早めの避難が必要な事を考えていただいています。
- ・避難リュックコーナーで子供が体験する際に職員の説明が有ると分かり安いとの声を頂いたため、体験している方が居る時は説明を行うように努めている。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

- ・伝承館開館から6年になり掲示物、展示物のリニューアルが必要となって来ている。
- ・教育旅行や団体の来館者数が年々少なくなって来ているので今後の方針を考える時期と思われる。
- ・教育旅行の受入が出来るカリキュラムやコースを閑上地区の観光施設と協議が必要と思われる。
- ・発災から15年となり、震災の記憶がうすれてきているため、震災後に生まれた子供への防災・減災や震災の経験を伝える語り部団体や行政との連携が必要と思われる。
- ・発災から15年になることから、職員へ業務に必要な研修や教育が必要と思われる。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	△	△
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。	○	○
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○	○
		業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	○
	利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	○
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	△	△
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	△
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	△
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準(目安)】

評価		評価の考え方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価【施設所管課記入】

- 1 実施体制に関する評価
 - ・施設、設備の清掃及び保守点検を適切に行っており、加えて施設周辺の草刈りやゴミ拾いも定期的に行うなど、景観の保護に努められたことを評価する。
 - ・今後は職員研修や教育を積極的に実施し、様々な視点から震災を風化させないための仕掛けづくりに取り組める人材の育成に期待する。
- 2 サービスの内容や水準に関する評価
 - ・パネルやジオラマ等の説明、防災リック体験コーナーでの説明など、来館者のニーズに応じた柔軟な対応が行われていた点を評価する。
 - ・来館者が減少はしているが、ホームページへの掲載が30回、SNSの更新が165回（フェイスブック73件、インスタグラム92件）行っており、積極的に情報発信を行っていたことを評価する。
- 3 経営状況に関する評価
 - ・人件費や教育旅行の誘致に係る県外PR費用、震災直後の閉上を描いた油絵の企画展に伴う費用など、前年度よりも支出が大きくなり、収支がマイナスとなっていることは反省が必要である。
- 4 総評

昨年に比べ来館者数は減少した一方で、積極的な情報発信により、団体受入数は229件で過去最多となったことは評価する。また、丁寧な対応や自主事業の実施による来館者の満足度向上に努め、全体的に基本協定書や仕様書に基づき適正に運営されていた。次年度は団体旅行のさらなる誘致活動や自主事業の実施回数の増加など、来館者数の増加に向けた取組みを期待したい。